

経営比較分析表（令和元年度決算）

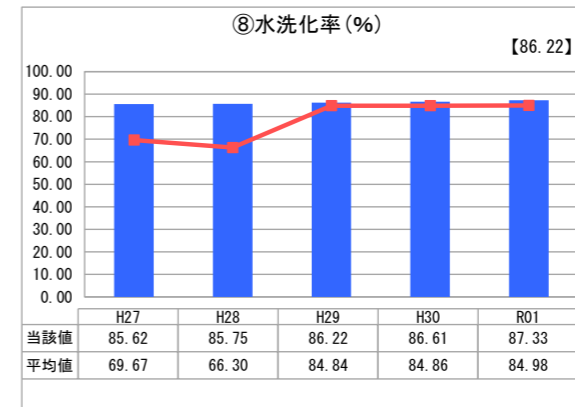
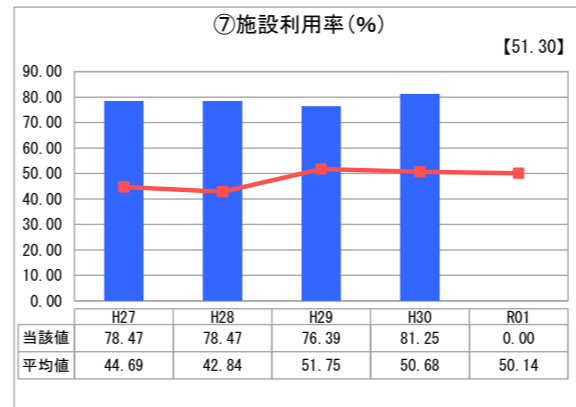
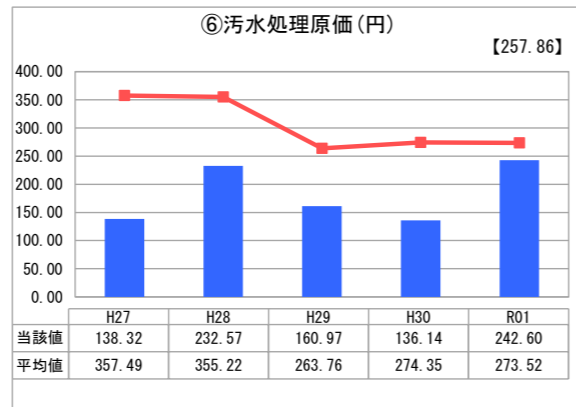
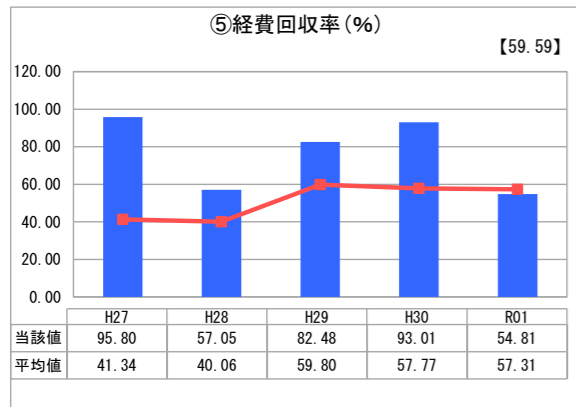
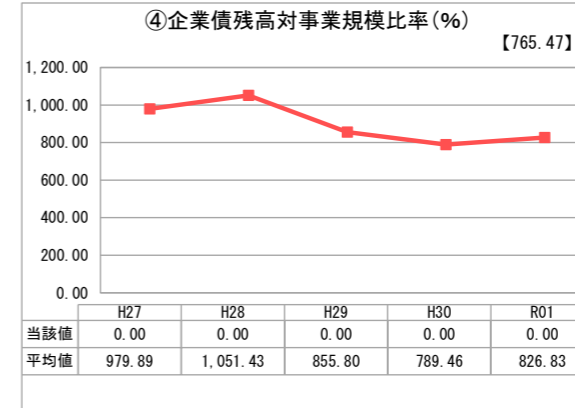
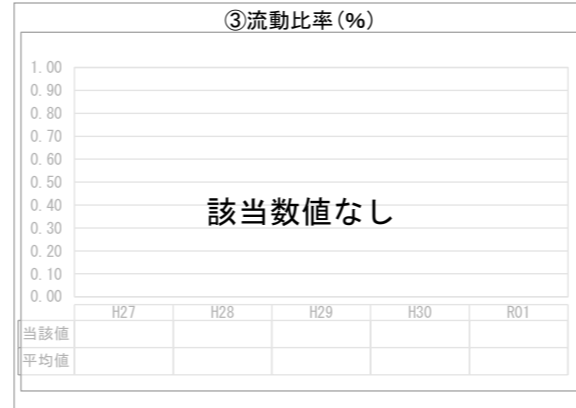
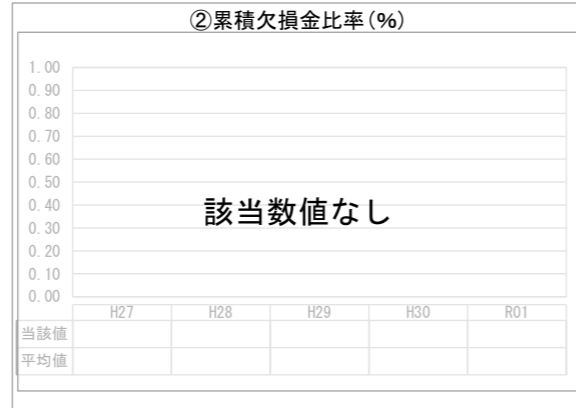
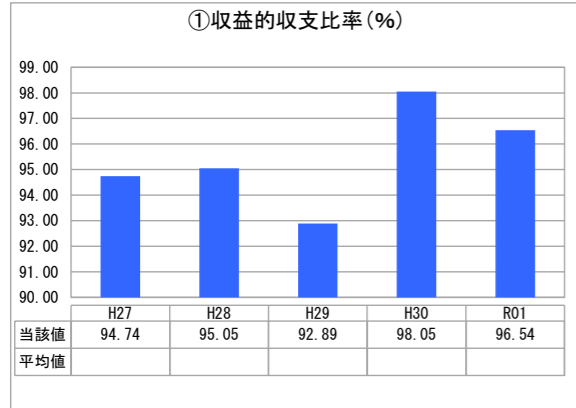
高知県 佐川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	3.43	100.00	3,100

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
12,704	100.80	126.03
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
434	0.17	2,552.94

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[]	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率の過年度については、設備修繕などの特殊事情により比率が低下する年度があったが、それ以外は100%に近い数値が出ている。中でも、平成30年度については施設の修繕が少なかったため高い傾向にあるが、令和元年度からは施設の機能強化対策を実施しており、数値が低下することが想定される。

④企業債残高対事業規模比率については、地方債残高は減少しているが、機能強化対策及び公営企業会計への移行に係る委託費に地方債を充当する予定であるため、来年度以降は数値が上昇することが想定される。

⑤経費回収率については、類似団体平均値を下回っているが、機能強化対策の計画策定業務に費用がかかったためと考えられる。

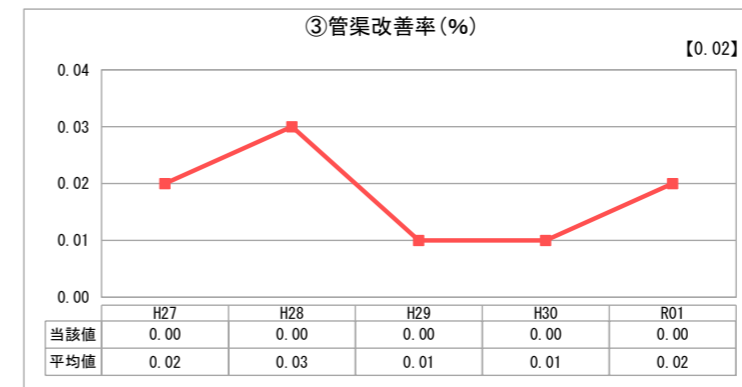
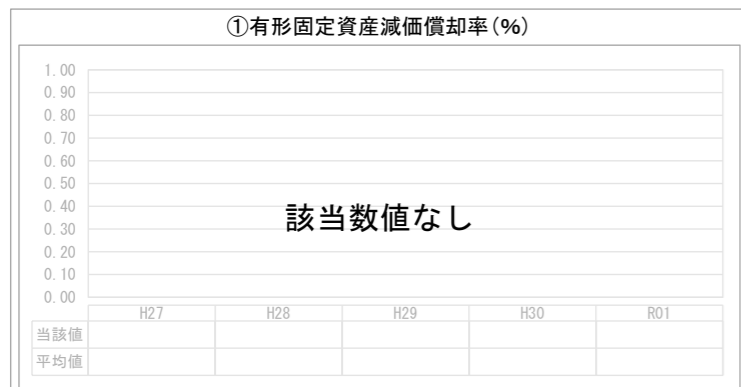
⑥汚水処理原価、⑧水洗化率については、類似団体平均値と比較し、同程度または良好な数値が示されているが、汚水処理にかかる全ての経費を使用料で賄うことができていないため、一般会計繰入金に頼っている。

⑦施設利用率については、現在晴天時処理能力144m³/日に対し、現在晴天時平均処理水量が117m³/日で施設利用率は81.25%であり、昨年度と数値が変わらないことから、類似団体平均値と比較し良好な状態である。
(R1数値が0となっているが、実際は81.25)

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率については0%であり、管渠の更新、改善が行われていない。
当該施設は平成14年度に供用開始しており、管渠以外の下水処理施設（処理場、ポンプ施設）については、令和元年度に策定した機能強化対策計画に基づいて、令和2年度から令和4年度まで工事を実施する。

2. 老朽化の状況



全体総括

今後は、人口の自然減に伴う使用料の減少や接続率の低下、施設の老朽化に伴う事業費の増加が想定されており、経営の健全性が低下することが懸念される。

施設の老朽化対策については、令和2年度から令和4年度にかけて機能強化対策工事を実施する。

また、令和6年度から公営企業会計の適用を予定している。これにより、現在の経営状況をより具体的に把握し、経営の健全化を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。